

不適合情報

2024年7月23日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	モニター建屋の排気筒監視盤に、航空障害灯および原子力灯火管制器の故障表示、GPS故障ランプの点灯を確認した。航空障害灯および原子力灯火の閃光状態およびGPSアンテナ外観に異常はなく、リセット操作を行ったが解除できないことを確認。当該事象の原因を調査し、対応を検討。	2024/07/13	
2	2号機	換気空調設備点検において、タービン建屋排風機(B)吸込み側ベーン(流量調整用ガイド羽根)の折損・脱落(1箇所)を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2024/07/11	
3	2号機	残留熱除去系(B)計装品点検において、系統流量計の基板に劣化を確認した。当該流量計を交換。	2024/07/11	
4	4号機	原子炉補機冷却海水系(A)系水張りにおいて、原子炉補機冷却海水系ストレナー(C)入口弁またはブロー弁のいずれかからと思われる、微量なシートパスを確認した。シートパスの弁を特定し修理。	2024/07/17	
5	4号機	原子炉建屋最上階(管理区域)でウエスに落下防止用ひもを取り付ける作業を行っていた協力企業作業員が、解けたひもの端部を整えるため、誤ってひもを啜ってしまったことを確認した。管理区域内での内部被曝につながる行為の禁止事項について指導し再教育を実施。なお、ホールボディカウンターによる測定で、内部取り込みがなかったことを確認済み。	2024/07/18	
6	その他	発電所構内大湊屋外エリアにおいて、協力企業作業員が物品運搬中に鉄骨に躓いて転倒し、口元、両腕、左脛を負傷した。業務車にて医療機関へ搬送し、診察の結果、下口唇挫創および両上肢打撲擦過傷と診断された。当該事象を関係者に周知し注意喚起。 【2024年7月18日公表済み】 https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2024/20240718p.pdf	2024/07/17	